

新型コロナウイルスが5類になって学校保健法は

文部科学省は2023年4月28日に、5類感染症への移行後の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を公表しました。新型コロナウイルス感染症の出席停止の期間の基準を「発症した後五日を経過し、かつ、症状が軽快した後一日を経過するまで」としました。無症状感染者については、検体を採取した日から5日を経過するまでとしました。これらの場合、発症あるいは検査日が0日目になります。症状が軽快した日もその日を0日とします。発症から10日を経過するまでは、当該児童生徒に対してマスクの着用が推奨されます。解除時に陰性証明は不要です。5月8日以降は濃厚接触者の特定は行われなくなり、新型コロナウイルス感染症の感染が確認されていない者については、直ちに出席停止の対象にはなりません。

出典：文部科学省HP『学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について(通知)(5文科初第345号、令和5年4月28日)』

母子健康手帳(親子健康手帳)の改正について

2023年4月から、11年ぶりに母子健康手帳(親子健康手帳)の改正がありました。主な変更点は、①子育て世代包括支援センターなどへの相談を促す記載が追加されました。②父親や周囲の方が自由に記載する欄ができました。また、小学校1年～18歳までの健康状態の記録欄が追加されました。③母子健康手帳では紙で掲載する情報が絞り込まれ＝ページ数が減らされ、育児などの情報は主に厚生労働省のウェブサイト「母子健康手帳情報支援サイト」で閲覧することになりました。堺市でも順次旧母子健康手帳から切り替わっていくと思われます。

出典：たまひよONLINE『2023年4月に改正された母子健康手帳。新しく変わった3つのポイントと込められたメッセージ【厚生労働省担当者に聞く】(2023年4月8日配信)』、厚生労働省HP『母子健康手帳情報支援サイト』

新型コロナワクチンについて

	対象者		時期		
			令和4年度	令和5年度	
			令和4年秋開始接種【R4.9.20～R5.5.7】	令和5年春開始接種【R5.5.8～8.31予定】	令和5年秋開始接種【R5.9.1～12.31予定】
追加接種	12歳以上	65歳以上	○ (12歳以上用2価)	○ (12歳以上用2価)	○ (使用するワクチンは検討中)
		基礎疾患あり			
		医療従事者等			
	上記以外の方 (健常な65歳未満)	×			
	5～11歳	基礎疾患あり	追加接種【～R5.3.31】(従来型)	○ (小児用2価) 3か月以上でもう1回可	
		上記以外 (健常な小児)			
初回接種	12歳以上	接種対象(12歳以上用、従来型、1・2回目、当科で不可)			
	5～11歳	接種対象(小児用、従来型、1・2回目、当科で可)			
	6か月～4歳	接種対象(乳幼児用、従来型、1・2・3回目、当科で可)			

令和5年5月8日から8月31日の期間に12歳以上用の2価コロナワクチンを接種できるのは、65歳以上の高齢者、基礎疾患のある方、医療従事者等のみにになります。5～11歳の従来型での1・2回目は特定の木の夕方に、5～11歳の方の2価ワクチンでの3か4回目は特定の土の午前に、6か月から4歳の1・2・3回目は特定の水の午後の予防接種の時間帯を設定しています。5～11歳で基礎疾患のある方は令和5年春開始接種の間に、前回接種から3か月以上でもう一回2価ワクチンを接種できます。

インフルエンザは非流行期に

インフルエンザの定点当たりの報告数は、大阪府・堺市とも1月30日からの週の29.91、36.75をピークに、4月10日からの週は0.78と0.57まで下がり、非流行期に入った目安の1.0を下回る状態になりました。4月17日からの週は0.78と0.25でした。

出典：大阪府感染症情報センターHP『疾患別情報 インフルエンザ定点当たり患者数(直近10週)～16週(4月17日～4月23日)』

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に 2023年4月から9価子宮頸がんワクチンを定期接種で使用可能に

日本脳炎ワクチンは通常通り、予約できます

2月1日から、
発熱外来を拡大しています

感冒症状の**全くない方専用**

午前診 9:00~10:00
夕方診 17:00~17:30

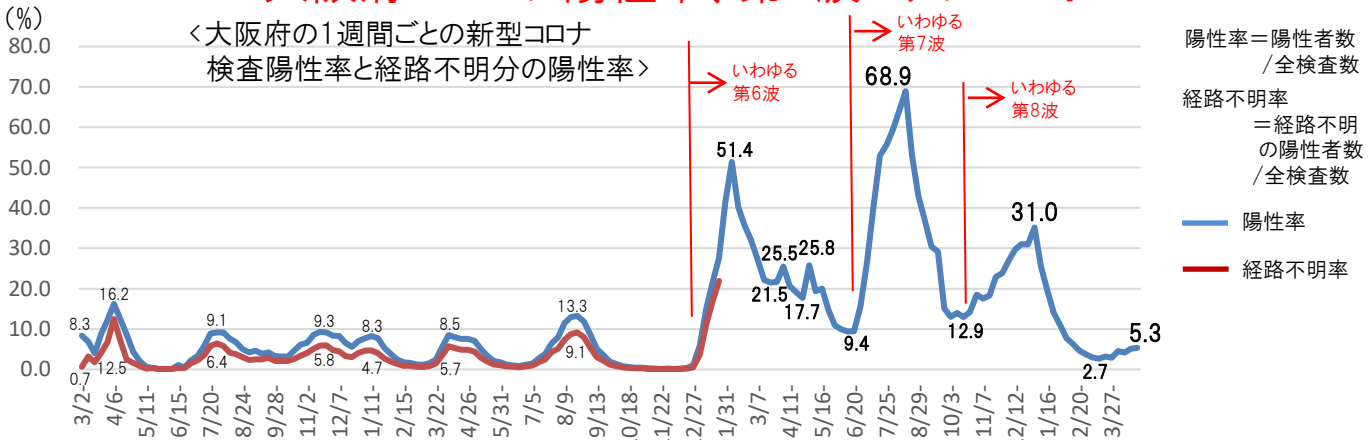
全く感冒症状のない方は、乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症などを指します。

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率					
R4.2/2~	10	3	0	30%	5/2~	9	1	0	11%	8/1~	23	12	4	65%	10/31~	11	0	0	0%	1/30~	22	2	0	9%
2/7~	21	10	4	56%	5/9~	18	2	2	20%	8/8~	15	6	3	50%	11/7~	14	2	0	14%	2/6~	17	0	0	0%
2/14~	11	4	0	36%	5/16~	10	1	2	25%	8/16~	20	11	6	59%	11/14~	10	3	0	30%	2/13~	3	0	0	0%
2/21~	5	3	0	60%	5/23~	14	3	0	21%	8/22~	27	8	2	34%	11/21~	19	1	0	5%	2/20~	6	0	0	0%
2/28~	21	13	1	64%	5/30~	8	0	0	0%	8/29~	10	4	2	50%	11/27~	18	5	0	28%	2/27~	9	0	0	0%
3/7~	14	4	3	41%	6/6~	9	1	0	11%	9/5~	10	3	2	25%	12/5~	14	3	0	21%	3/6~	9	1	0	11%
3/14~	14	6	2	50%	6/13~	3	0	0	0%	9/12~	26	3	2	15%	12/12~	19	3	0	16%	3/13~	11	0	0	0%
3/21~	13	6	1	50%	6/20~	10	1	0	10%	9/20~	7	2	1	38%	12/19~	17	6	0	35%	3/20~	9	0	0	0%
3/28~	10	0	0	0%	6/27~	8	1	0	13%	9/26~	23	6	1	29%	12/26~	17	1	0	14%	3/27~	13	0	0	0%
4/4~	9	1	0	11%	7/4~	11	4	1	42%	10/3~	17	3	0	18%	R5.1/2~	14	2	0	14%	4/3~	8	0	0	0%
4/11~	18	2	0	11%	7/11~	31	14	0	45%	10/11~	16	3	0	19%	1/9~	12	3	0	25%	4/10~	10	0	0	0%
4/18~	14	3	0	21%	7/19~	36	13	0	36%	10/17~	18	4	0	22%	1/16~	33	6	0	18%	4/17~	12	0	0	0%
4/25~	21	7	3	42%	7/25~	47	13	6	36%	10/24~	11	1	0	9%	1/23~	22	3	0	14%	4/24~	10	0	0	0%
																			計、平均	975	223	47	26%	

当科での週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。当科では4月中にコロナ陽性の方はおられませんでした。

大阪府のコロナ陽性率、第9波の入口か？

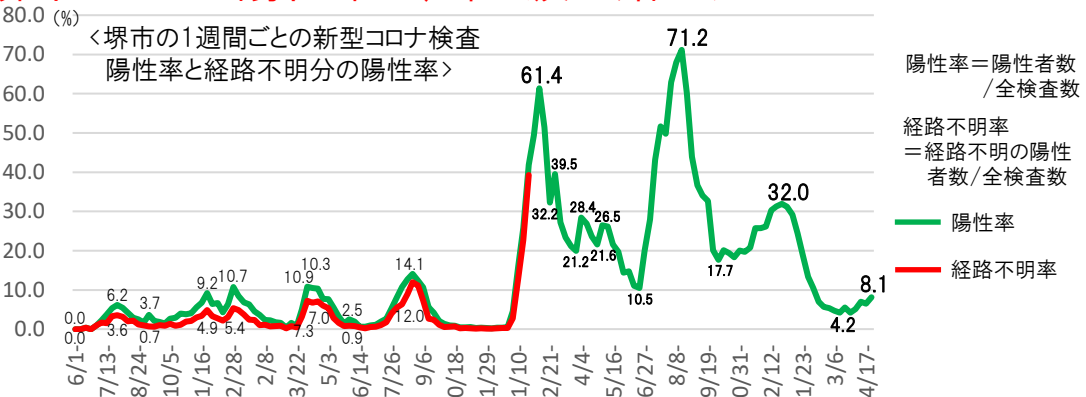


陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありえます)での推移です。2023年3月13日からの週に2.7%まで低下しましたが、わずかず上昇中で、4月23日から30日の週には5.3%でした。

出典:大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2023/4/30』

堺市のコロナ陽性率も、第9波の始まりか

堺市の陽性率も2023年3月13日から19日の週に4.2%まで低下しましたが、じりじりと上昇中であり、4月23日から30日の週には8.1%になっています。



出典:堺市危機管理室 Twitter 最終更新 2023/4/30

5月・担当医の変更 なし

ゴールデンウィークはカレンダー通りです